

# 正解・解答例

教科・科目名	国語（前期日程試験：令和8年度） 1 / 1	問題番号	K 2
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部（法学科、経済学科）		
<p style="text-align: center;">1</p> <p>100%</p> <p>採点時の配点 120点</p>	<p>問一 (ア) 窮屈 (イ) 帰結 (ウ) 含意 (エ) 洞察 (オ) 発揮</p> <p>問二 駅で両親とはぐれて泣いている小さな子どもを、職場に向かうために放置して立ち去ることが、無責任だと思ひ心残りを感じることに。</p> <p>問三 責任の対象の傷つきやすさ（12文字）</p> <p>問四 子どもを守ることが迷子に対する責任の本質であり、責任の担い手は初めに保護した者に限られない。状況によっては、駅員など他者に委ねる方が適切な場合もあるということ。</p> <p>問五 愛や幸福といった自分にとっての価値を動機とするのではなく、そうした私的利害に囚われずに他者への責任を引き受けて行動するという意味で、自由を発揮しているということ。</p> <p>問六（解答例）「弱い責任」は人が孤立せず生きる上で重要であると考えられる。 「弱い責任」が生まれる身近な事例は、辛いことや困っていることを言葉にし、誰かがそれに耳を傾けることだと考えられる。テレビ番組で子どもが今困っていることを言葉にしてクラスメイトにペアで伝え合う小学校での取り組みを見た。なかなか言葉にできない子どももおり、聞いた子どもができることは「それはつらいね」「私もそういうことある」という受け止めであったが、困ったことを心の外に出してよい、簡単に解決しなくても受け止められることが支えになるという経験をしていた。思いを聞き合う身近な経験が問題を抱え込まず「弱い責任」を共有できる社会の基盤になると考える。(299文字)</p>		

## 採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	国語 (前期日程試験：令和 8 年度)	問題番号	K2
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部 (法学科、経済学科)		
出題のねらい	<p>1 現代的な評論文を読んで、基礎的な知識、文脈を把握する読解力、論理的な思考力と基礎的表現力をみる。</p>		
採点基準	<p>1 配点 100% (120点) 問1 20点 (4点×5) 問2 15点 問3 10点 問4 15点 問5 20点 問6 40点</p>		